

虎の門病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、当院または下記の連絡先へお問い合わせください。

研究課題名 深達度 SS/SE 胃癌患者における遺伝子変異の臨床的有用性を評価する大規模バイオマーカー研究(JCOG1001A1)

対象者 JCOG1001「深達度 SS/SE の切除可能胃癌に対する網嚢切除の意義に関するランダム化比較第 III 相試験」に参加され治療を受けられた方

総研究期間 2017年9月29日～2022年12月末

利用目的

腫瘍組織や正常組織から DNA を取り出し、どの遺伝子にどのくらいの頻度で変異がみられるのか、どのような遺伝子配列をしているのかなどを調べ、がんの特徴と関係のある遺伝子や配列を見つけ出すこと、および網嚢切除術における治療効果を予測できるマーカーを見つけ出すことを目的としています。

情報の項目 研究参加施設より、手術の際に採取した組織および JCOG1001 で収集された臨床情報、JCOG1001 登録番号等を、下記研究組織に提供します。

外部への試料・情報の提供・公表

当施設からデータセンター等への試料、解析情報、臨床情報の提供は、BBJ-ID と 2nd-ID を用いて、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、バイオバンク・ジャパンが保管・管理します。試料解析情報は、我が国における代表的な公的データベースである独立行政法人科学技術振興機構 (JST) バイオサイエンスデータベースセンター (NBDC) で公表される可能性があります (<http://humandbs.biosciencedbc.jp/>)。このデータベースは、科学的観点と個人情報保護のための体制などについて厳正な審査を受けて承認された研究者のみが利用でき、データベースに登録された情報で特定の個人の情報であることは直ちに判別できないように管理されています。

方法

手術の際に採取した組織の一部を使用させていただきます。これらの組織は医療機関において保存されている組織を使用させていただくため、この附随研究のために新たに組織を

採取することはありません。腫瘍組織、正常組織から DNA を取りだし、どのような遺伝子に、どのくらいの頻度で変異がみられるのか、どのような遺伝子配列をしているのかなどを調べます。また、あなたに参加いただいた JCOG1001 試験で収集された臨床情報をあわせて使わせていただきます。がん組織／正常組織と、診療情報との関連を調べ、例えば、がんと診断された時点で、これから行おうとする治療の効果を推測できるかなどの検討を行います。

研究組織

(Japan Clinical Oncology Group : 日本臨床腫瘍研究グループ)

胃がんグループ参加医療機関

<http://www.jcog.jp/basic/partner/group/index.html>

東京大学医科学研究所 ゲノム医科学分野 柴田 龍弘

東京大学大学院 新領域創成科学研究科 メディカル情報生命専攻 クリニカル
シーケンス分野 松田 浩一

国立がん研究センター中央病院 臨床研究支援部門 JCOG データセンター
研究代表者 氏名 吉川 貴己 所属 神奈川県立がんセンター 消化器外科

当院の研究代表者 氏名 宇田川晴司 所属 虎の門病院 消化器外科

当院の研究担当者 氏名 春田周宇介 所属 虎の門病院消化器外科

当院の連絡先

消化器外科医局

住所 ; 東京都港区虎ノ門 2-2-2

電話番号 ; 03-3588-1111

連絡先

研究事務局

長 晴彦

がん・感染症センター都立駒込病院 外科

〒113-8677 東京都文京区本駒込 3-18-22

TEL : 03-3823-2101

FAX : 03-3823-5433

研究代表者

吉川 貴己

神奈川県立病院機構神奈川県立がんセンター 消化器外科

〒241-8515 神奈川県横浜市旭区中尾 2-3-2

TEL : 045-520-2222

FAX : 045-520-2202